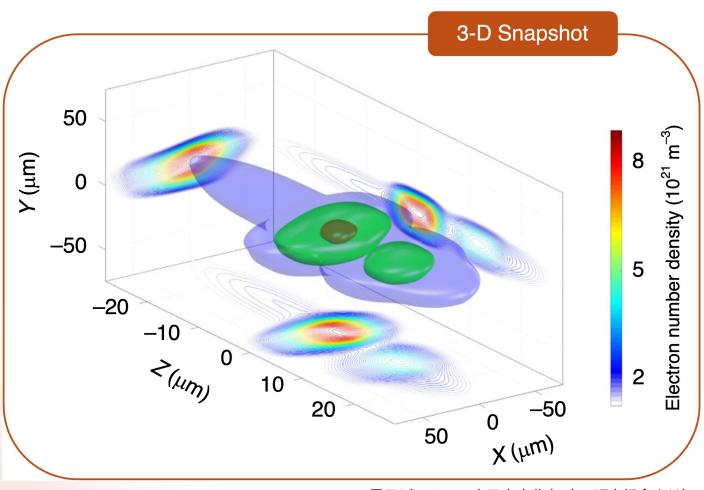




関心では多り





LWFA電子ビームの三次元密度分布 (P.1研究紹介より)

CONTENTS

研究」光量子ビーム科学研究部 紹介 高強度場科学研究グループ	01
今月の科学館 Day。10	02
関西研 日記 神秘の森 春日山原始林	03

光量子ビーム科学研究部 高強度場科学研究グループ

主任研究員 黄開



◆小型レーザー電子加速器の研究開発

電子を光速近くまで加速し、エネルギーを持たせ ることを電子加速といいます。高エネルギー物理 学に関する基礎研究や多分野への応用に役立てら れています。高出力・極短パルスレーザーを用い たレーザー航跡場加速(LWFA)は、電子加速器を 小型化し高輝度の電子ビームを生成する技術とし て注目されています。低密度ガスに超短パルス高 出力レーザーを入射すると、駆動レーザーの後

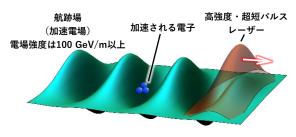


図1:レーザー航跡場加速(LWFA)の概念図

に電子プラズマ波が発生します(図1)。 この波の電場強度は100 GeV/m以上となり、RF (Radio Frequency)空洞型加速器よりも3桁以上高い加速勾配に相当します(図2)。よって、高エネル ギー電子を得るために、加速部の長さは千分の一まで小さくなります。



加速効率が約1000倍向上



図2: a: RF空洞型加速器、b: LWFA用のガスノズル。1 GeV = 109 eV

関西光量子科学研究所では、更なる電子ビームの高 度化を目指して、J-KAREN-P高出力レーザーシステ ムを用い、電子の注入過程を最適化することによっ て、僅か1cmの加速距離で1 GeV の準単色電子を達 成しました(図3)。現在、高強度場科学研究グ ループのメンバーは、このような小型GeV電子加速 器の応用に着手しています。

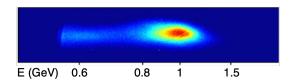


図3: J-KAREN-Pレーザーで得られた GeV電子のビームエネルギー分布

◆LWFA電子ビームの高精度な診断

加速器においては、電子ビームの空間的お よび時間的分布が重要ですが、LWFAにおける 電子ビームの高精度な診断方法は、まだ十分 に確立されていませんでした。我々は、E0サ ンプリング技術を選択して、これまで一貫し てLWFAの短パルス性を計測する研究を行って きました。最近はフェムト秒、マイクロメー トルサイズという微小の電子ビームの3次元 分布を単発で計測できる手法を確立しまし た。図4に世界で初めて、LWFAの三次元電子 密度分布を計測した結果を示します。

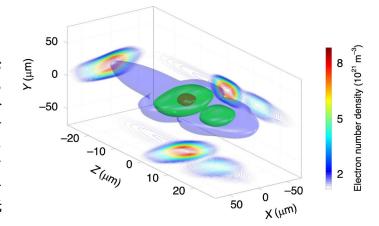


図4:実験において世界で初めて計測された フェムト秒、マイクロメートルサイズの LWFA電子ビームの三次元密度分布

◆電子発生と高精度診断技術の開発によって、広範な分野への応用を

小型電子加速器は高エネルギー物理学の分野にとどまらず、X線自由電子レーザーや極短パルスの 高速現象の解明など、広範な分野への応用が期待されています。電子発生と高精度診断技術の開発に よって、より高精度な時間・空間分解能の実現や、電子ビームの動的特性の詳細な理解したいです。 これにより、LWFA技術の実用化がさらに進み、次世代加速器や新しい光源技術の発展に寄与します。<mark>○ 1</mark>

*** きっづ光科学館ふぉとん

The Kids' Science Museum of Photons



※7月※2科学館



利用状況

きっづ光科学館ふぉとんは、7月11日で開館23周年を迎えました。 今月もご家族連れの他、高校生のサイエンスキャンプなど、2,700名を 越える来館者をお迎えいたしました。

7月27日から8月25日にかけて、夏休み親子工作イベントを開催しております。





七夕かざり



花火レジン



七タプラバン



夏プラバン



段西研記

Day. 10 神秘の森 春日山原始林

いつでもいけるという考えから、なかなか行けていなかった「春日山原始林」 を散策してきました。「春日山原始林」は奈良公園の東側に位置しており、古く から春日大社の聖域として守られてきたことから特別天然記念物に指定されてお り、ユネスコ「世界文化遺産(自然遺産ではない)」にも指定されています。

近鉄奈良駅からスタートし、「若草山」を目指して奈良県庁、奈良国立博物館 や東大寺などが面した大通りを、鹿と鹿のふんを避けながら進み、若草山の有料 入山ゲートに向かう左手の階段を横目で通り過ぎ、少し進んだカーブのところに 「春日奥山遊歩道」の入り口があります。

ここからハイキングのはじまり です(若草山の入山料は大人150 円。こちら側からだと無料)。整 備された遊歩道で、県や観光協会 の情報にはヤマビルに注意との記 載がありましたが、少なくともこ の日は足元の心配は不要で、風の 音、葉擦れ、鳥やセミの鳴き声、 沢の水の音などを楽しみながら若 草山山頂(写真1)に到着です。



写真2:鶯の滝



写真1:若草山山頂からの眺め (関西研は見えず。赤丸はタツタタワー)

次なる目的地の「鶯(うぐいす)の滝(写真 2) | を目指し、道のりは遊歩道ではなくドラ イブウェイを歩きます。途中、「春日奥山 最大 の山桜」の看板が虚しい山桜伐採跡を通りすぎ、 鶯の滝に到着です。なかなか迫力のある滝で、 マイナスイオンをしばし浴び、滝を後にし、途 中いくつかのポイントを周って帰路へとつきま した。

近鉄奈良駅から含めると総長約20kmの散策 となり、当日は梅雨の中休みの猛暑日でしたの で、帰りはふらふらでした。

动知与世ョーナー

第24回SPring-8夏の学校で実習を実施(播磨地区)

SPring-8夏の学校が7月7日(日)から10日(水)までの4日間の日程で開催され、修士課程の大学院生を中心に80数名の学生の参加がありました。実験ホール見学ではQSTの若手研究者が自身の研究内容や使用している装置の紹介を行ったほか、QSTの実験装置を利用した実習「共鳴非弾性X線散乱・X線発光分光による白金微粒子酸化還元のオペランド計測」では2日間で計7名の学生が試料準備、放射光を利用した計測、データ解析に取り組みました。また、本年度は久しぶりにバーベキューによる懇親会が行われ、講義・実習を行なった研究者と学生の間の親睦を深めることができました。





実習に取り組む学生たち。本年度が初めてとなる内容で、実習時間も限られていた中、 概ね十分なデータを取得することができました。

青少年のための科学の祭典 2024全国大会への出展(木津地区)

青少年のための科学の祭典 2024全国大会が7月27日(土) 28日(日)の2日間開催され、本部国際・広報課と合同でイベント出展してきました。

関西研では定番の工作「偏光ステンドグラス」ですが、光の不思議をとても簡単に体験できるので、大人も子どもも関係なく、皆さん一様に楽しみながら取り組んでいただけました。





関西光量子科学研究所

関西研だより



2024年8月号

発行日:2024年8月1日

発行元: 関西光量子科学研究所

〒619-0215

京都府木津川市梅美台8丁目1番地7

Tel: 0774-85-2914 Fax: 050-3730-8563

関西研ホームページ https://www.qst.go.jp/site/kansai/

関西研YouTube https://www.youtube.com/channel/UCGQohC8igUdeiLFTx_1KhtA

関西研X https://twitter.com/kpsi kizu